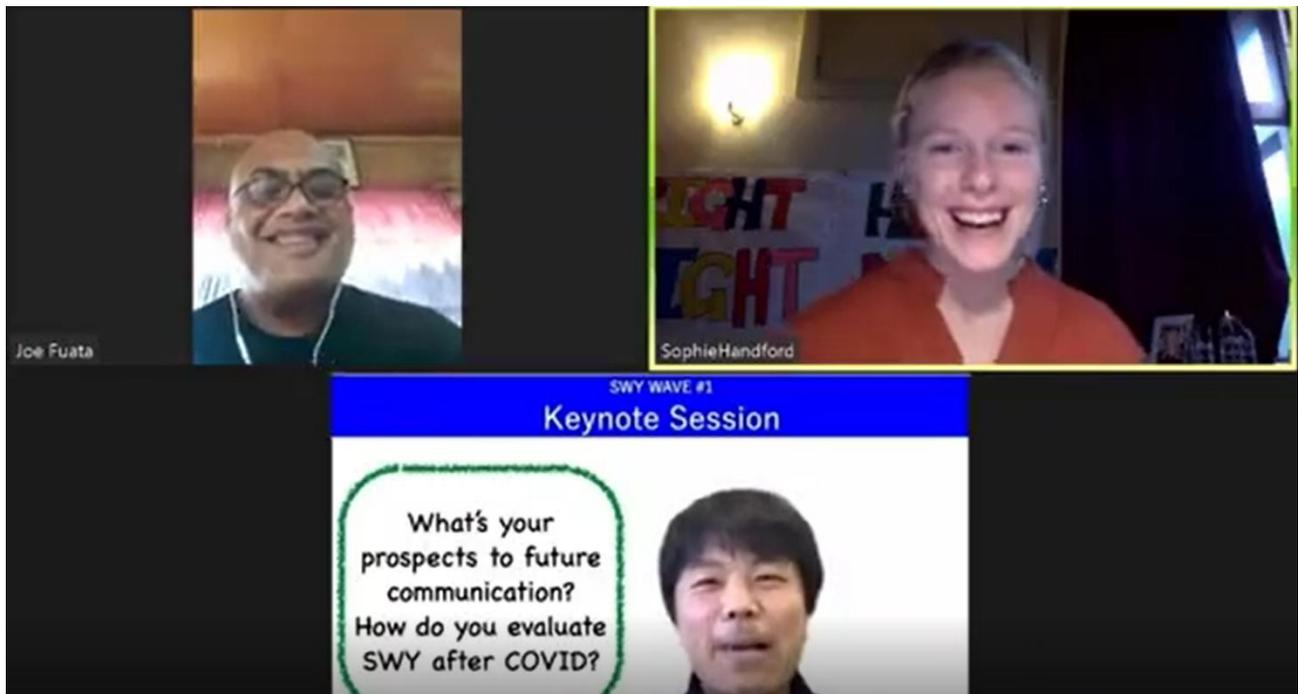


第2章

「世界青年の船」 事業への提言



提言の趣旨

全6回のSWY WAVEの配信を通して、視聴者に対するアンケート調査を行った。各回の配信後に視聴者に対してオンライン上のアンケートフォームの記入を働きかけ、SWY WAVEのセッションへの感想や満足度などを調査する質問に加え、「世界青年の船」事業への関心度などを尋ね、対象地域の視聴者及び日本人がどの程度、事業への理解を深め、また「世界青年の船」事業の再開を期待しているかを調査した。過去に事業に参加した経験がある視聴者に対しては、より多くの青年に質の高いプログラムを提供するために今後どのような取組をすべきか、現状の課題とその克服方法について意見を募った。また、各回の登壇者からは、「世界青年の船」事業の成果を発信することを基調としたが、それに加え、事業をより有意義で価値のあるものにするためのアイデアも多く提案するよう促した。

第2章では、アンケートの回答や登壇者からの提案を振り返り、「世界青年の船」事業の価値や課題の評価を試みると共に、次回以降の事業の実施においてどのような工夫に取り組むことができるかを探る。

アンケート集計結果

アンケート結果から、SWY WAVEの評価と「世界青年の船」事業への提言につながる項目を下記の通り抜粋する。

1-1. 今回のSWY WAVEについての感想をお聞かせください（自由記述）

今回初めてSWY WAVEに参加し、大変貴重なお話を聞けてとても良い経験となりました。「世界青年の船」事業の内容を聞いて、様々な地域の方々と交流できぜひ参加してみたいと感じました。私は、将来的に国際的な仕事ができたらと考えているのでこのプログラムに興味が湧きました。今後またあるSWY WAVEにもぜひ参加したいと思います。本日は大変貴重なお話をありがとうございました。（高校生／日本）

参加青年が実際に何を大切に、何を得ようとして船に乗り、何を感じられたかを少しだけ教えてもらえた気がします。私は親の目線でこれから成長する子供たちに何かバトンを渡したいと考えます。SWY WAVEは息子といっしょに拝聴いたしました。10代からこのような話を聞けるというのは大きな経験の一つです。（社会人／日本）

<p>登壇者の方々のお話を伺って、自分の視野の狭さに改めて気付かされた。リーダーシップ、パートナーシップ、そしてフレンドシップを発揮されている登壇者の方々をみて、自分も変わりたいと思った。年齢制限でSWYへの参加はできないかもしれないが、SWY WAVEのおかげで、グローバルな活動により興味を持つきっかけになったと思う。（社会人／日本）</p>
<p>「世界青年の船」事業についてより知ることができ、また登壇者（過去の参加青年）のお話は自分自身の日常生活でとり入れていきたいと思うことがあった。（大学生／南スーダン）</p>
<p>日本で多くの文献や記事を読んでも、中東は遠い国であり、なかなか理解しづらい国々だと感じていましたが、今回の講演で理解が深まりました。特に、"we are the same and different"という言葉がすごく印象に残り、改めて互いを尊重し、理解しようとする姿勢の重要性を実感しました。（大学生／日本）</p>
<p>「世界青年の船」事業参加後に、どのような仕事や活動をしているかのお話が非常に興味深かったです。コロナで家にこもることが増えましたが、改めて世界は広いんだということ、知らないものに溢れているのだということを感じました。（社会人／日本）</p>
<p>どのコンテンツもとても素晴らしかったです。中でも第4回のAfraさんの講演が印象に残りました。彼女は女性のUAE連邦国民評議会議員50人のうちの1人であり、「人生は贈り物」「自分を信じることで自身を高めることができ、人生はより豊かになる」といった言葉から、彼女の意志の強さを感じました。同じ女性として、大きな憧れを抱きました。UAEでは議員の割合・人数を男女共に50:50にしていると知り、とても良い取り組みだと思いました。</p> <p>また、出身国や性別、言語、宗教、肌の色などが異なっても、私たちはみんな同じ人間であるということに改めて考えさせられました。男女平等と世界平和の実現を夢物語では終わらせたくないと感じました。世界的な新型コロナウイルス感染拡大により、今年度のSWYは残念ながら中止となってしまいましたが、世界で活躍する過去のSWY参加者達とオンラインにて繋がることができ、SWYに対する関心や期待が高まりました。絶対に挑戦したいです。（高校生／日本）</p>
<p>SWYの活動について説明会の時より詳しく知ることができてよかった。事後活動の重要性と事後活動により自分の活躍の場を広げたり能力を高めたりできるだろうと思った。</p> <p>プレゼンターの方々のお話がとても興味深く、自分もSWYに参加し彼らのように活躍したいと思った。（大学生／日本）</p>
<p>SWYに参加すると世界中がHOMEになること、テクノロジーのおかげで世界中とコミュニケーションがとれるようになったことを改めて気付かされ、希望を持てた。（社会人／日本）</p>
<p>登壇者が「世界青年の船」事業の経験やその経験がどのようにその後の人生に影響があったのかということについて話していることを聞き、自分自身の現在やコロナ禍の生活について再考させられた。（大学生／ギリシャ）</p>

非常に有意義な時間を過ごせました。パネリストが口を揃えてSWYは人生を大きく変える場だと言っていたことが印象的でした。それを聞いて僕も乗船し、人生を変える経験をしたいと心から思いました。またMaxさんの”Think Global Act Local”という言葉が一番響きました。世界をより良いものとするために、まずは自分の身の回りを少しでも幸せにしていきます。本日はとても素晴らしい企画をありがとうございました。（大学生／日本）

素晴らしい登壇者とあらゆる話題を織り交まぜられた彼らのSWYの経験を聞くことができ良かったです！また見事なファシリテーションで登壇者から重要な要素を引き出し、写真を活用しながらエピソードを話していて鮮明に経験がイメージできました。

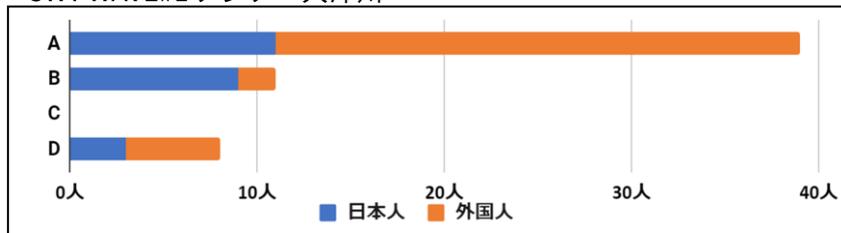
インタラクティブなブレイクアウト・セッションは非常にダイナミックで良かったです。登壇者が日本参加者に対して意見を共有したり、優しく声掛けをされていて受け止め方が素晴らしかったです。また、エピソード・トークで2人の登壇者がいたことも広い視野で全体を見られたので良かったです。私自身もエンセナダに参加青年として行ったので、事後活動にどれくらいの努力と計画と苦労があったのかということを知ることができて、そのような経験ができたことに感謝しました。

（社会人／英国）

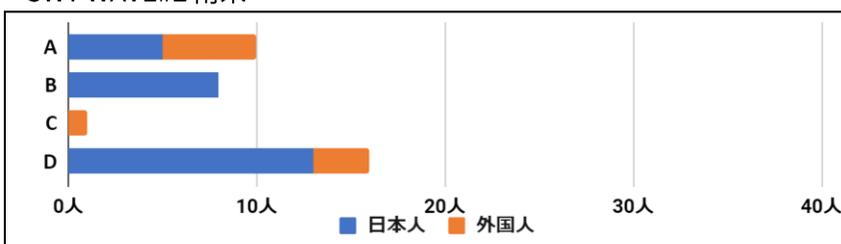
質問1-2. 来年度以降、事業が再開されたら、「世界青年の船」事業に参加したいと思いますか？
 (参加対象年齢は応募時点で18歳-31歳)

- A. 募集が開始したら応募する
- B. 参加したいが、応募を迷っている
- C. いまは参加したいとは思わない
- D. 既に「世界青年の船」事業、または内閣府他事業に参加したことがある

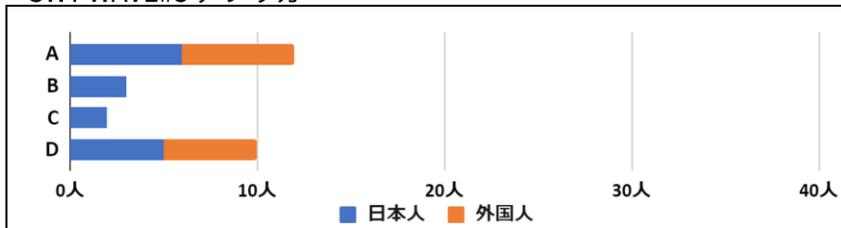
SWY WAVE#1 アジア・大洋州



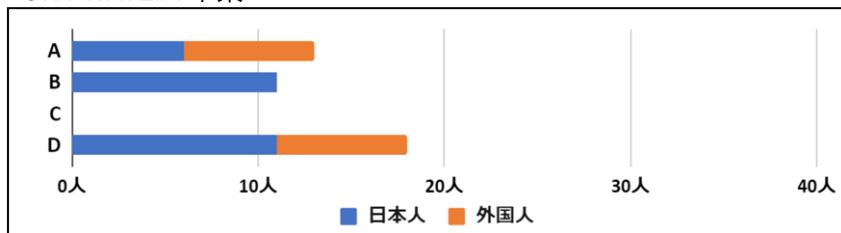
SWY WAVE#2 南米



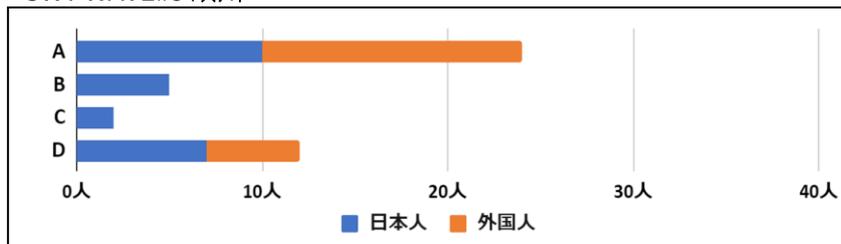
SWY WAVE#3 アフリカ



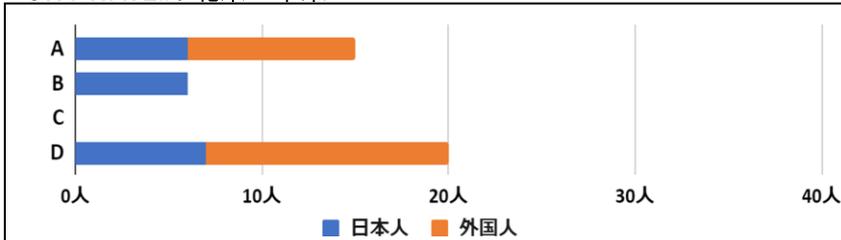
SWY WAVE#4 中東



SWY WAVE#5 欧州



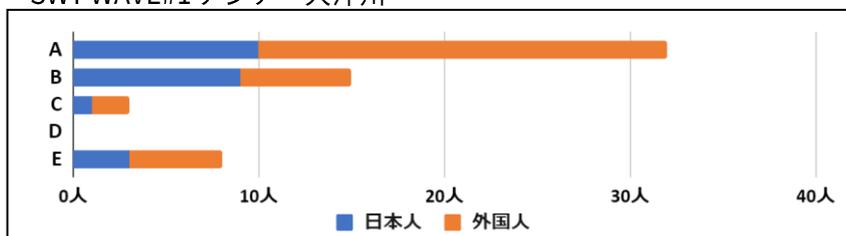
SWY WAVE#6 北米・中米



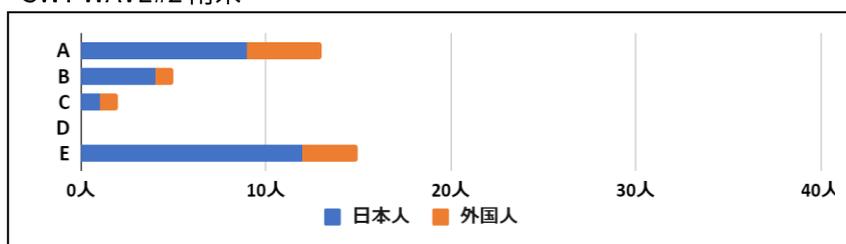
質問1-3. SWY WAVEに参加したことで、「世界青年の船」事業に参加したいという意欲に変化はありましたか？

- A. 高まった
- B. 変わらない（元から高かった）
- C. 変わらない（元から低かった）
- D. 低くなった
- E. 既に「世界青年の船」事業、または内閣府他事業に参加したことがある

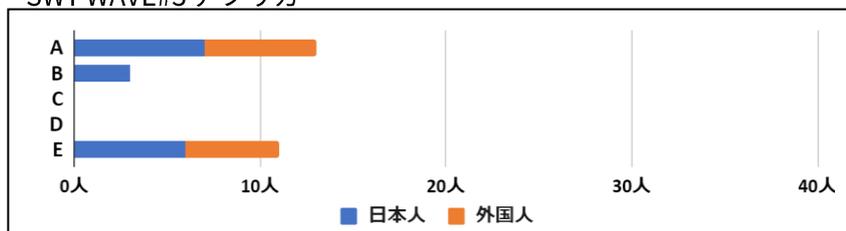
SWY WAVE#1 アジア・大洋州



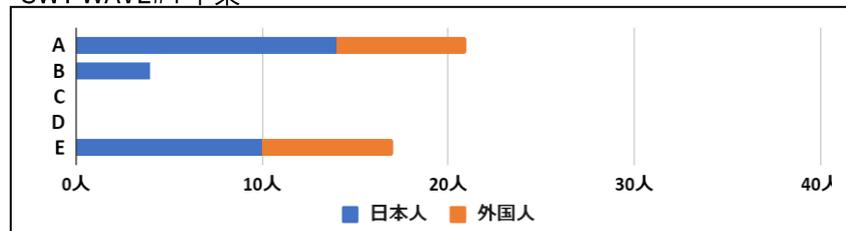
SWY WAVE#2 南米



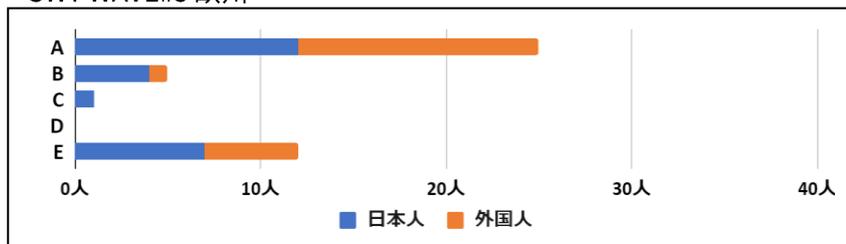
SWY WAVE#3 アフリカ



SWY WAVE#4 中東



SWY WAVE#5 欧州



SWY WAVE#6 北米・中米

